

令和5年4月受付分公表

番号	件名	市民の声（要旨）	市の回答	問い合わせ先
1	選挙管理委員会の姿勢	<p>選挙立ち会い人の依頼について不安定なシステムがある。かつてから指摘しているが、なんら検討していただけない。このままだと立ち会い人の受け手がなくなります!いつまで今のやり方にこだわるつもりですか!</p>	<p>お問合せいただきました、投票立会人の依頼については、現在、自治会長様に推薦依頼書として「投票立会人の推薦について」をお送りし、会員からの選出をしていただくといった流れとなっています。その依頼書には、投票立会人の資格や職務等が簡単に記載されている程度となっています。</p> <p>4月5日にもお電話をいただいておりますが、今後は投票立会人選任依頼の際、自治会長様にさらに丁寧な資料をお渡しし、投票立会人に理解していただいた上承諾を得るようにつとめていきたいと思っております。</p> <p>今後も引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>	<p>選挙管理委員会事務局 電話：53-4411</p>
2	松阪市保有地の件	<p>松阪市が保有する不動産があると思います そこで土地で更地のものを教えて下さい 1.所在地 面積 更地の状態 尚教育委員会etc管理を除く、含む地域振興局管理 松阪市保有地の駐車場も空が多数ありますが所有地を有効活用して税外収入の確保が必要とおもいます</p>	<p>ご意見をいただきました松阪市の保有する土地のうち更地についてですが、現在松阪市ではホームページにて売却可能な物件を一覧で公開しておりますのでそちらをご確認いただければと思います。</p> <p>これらの土地は、問い合わせに応じて随時一般競争入札による売り払いや賃貸借を行っております。最近では令和3年度に一般競争入札で1件の土地を売却しております。</p> <p>また、賃貸借契約により土地の貸付を行っている物件もございます。</p> <p>今後も市の保有する土地を有効活用していけるよう努めて参ります。</p>	<p>財務課 電話：53-4322</p>

令和5年4月受付分公表

番号	件名	市民の声（要旨）	市の回答	問い合わせ先
3	<p>高齢者の移動手段をどう確保していただくか。さらなる検討をよろしくお願いいたします。</p>	<p>さて県内では民間路線バス撤退が続いております公共交通空間地域解消に向けた取組としては定時定路型、オンデマンド型、同型の乗り合いタクシー事業型、人工知能（AI）を活用したオンデマンド型バスetcの試みがなされております。また市内でも住民協がスーパーと協力して買物に利用するとかスクールバスやデイケアの送迎バスの日中の活用、たとえば総合病院への通院手段の活用も検討されるように聞いております</p> <p>定時定路線型と完全なオンデマンド型の間をどうするかを住民行政交通事業者が専門家を交えて、地域の実情に沿った交通網を考える事期に来ているのではないのでしょうか</p> <p>住民ニーズと費用対効果に見合った公共交通を考えるべきではないのでしょうか</p> <p>住協が市民センター化の話が進められておりますそういった場での問題提起なり、又、市長さんが色々な場で市民との語る会を開催されておりますが、公共交通空白地域での語る会も必要ではないでしょうか</p>	<p>路線バスやタクシーなど公共交通を取り巻く環境は厳しさを増し、それらに対応する様々な運行形態の移動手段が導入されるなか、現在、松阪市では地域にとって望ましい公共交通の姿を明らかにするマスタープランとしての役割を果たす地域公共交通計画の策定に取り組んでいます。</p> <p>松阪市の公共交通の根幹である民間事業者が運行する路線バス、タクシーは、高齢者の通院、買い物、高校生の通学など地域住民にとって必要不可欠な移動手段ですが、利用者数は減少傾向にあります。高校生が自宅から通学できなくなることは、地域の衰退に繋がるおそれがあることから、路線バス、タクシーを公共交通の基軸として、移動手段を確保、維持できるような交通体系を検討しています。</p> <p>また、高齢化や免許返納者の増加により、より便利な公共交通を求める声が高まりをみせる昨今、高齢化、人口減少が顕著で、タクシーが運行されていない飯高地域をモデルに公共交通の再編に取り組んでいます。</p> <p>見直しに際して、昨年度、飯高管内で、高校生以上すべての住民に「移動手段に関する市民アンケート」を実施したほか、地元住民に参集いただき住民協議会単位でワークショップを開催するなど、地域の交通現況やニーズを確認し、再編案を作成しています。</p> <p>今回、頂いた貴重なご意見は、関係各部署に情報を展開させていただき、今後の交通政策の検討に繋げていきたいと考えております。</p>	<p>商工政策課 電話：53-4184</p>

令和5年4月受付分公表

番号	件名	市民の声（要旨）	市の回答	問い合わせ先
4	松阪市にも小中学校の給食費無償化の実施を！	<p>2022年の出生数が初めて80万人を下回り、少子化が深刻になるなか「岸田政権は異次元の少子化」対策に向け踏み出そうとしている。夏の骨太の方針で確定させる予定である</p> <p>中部6県（愛知・岐阜・三重・長野・福井・滋賀）の全238市町では、本年4月現在36市町村で給食費無償化を導入されている</p> <p>三重では熊野市、大台町、いなべ市、志摩市、伊賀市、南伊勢町6市町である。中部では2017年度は8市町村、5年間で3倍以上増えた。</p> <p>①提案—前回の国勢調査で3人きょうだいの児童生徒は1,598人、4人きょうだい児童生徒は326人 計1,924人に対する無償化を約5,000円×1,924人×10ヶ月=9,620万円（年内）</p> <p>②提案—小学生約8000人×4600円×10ヶ月=36,800万円</p> <p>③提案—中学生約3700人×5100円×10ヶ月=18,870万円</p> <p>④提案（補助） 小学生36,800万円+18,870万円=55,670万円÷2=27,835万円（保護者負担を半額に）</p> <p>本声につきましては経営企画課、財務課、教委会担当課及び市議会へ配布いただき、合議の上、返答いただきたい</p> <p>令和5年度一般会計補正で執行部より臨時議会に提案、審議の程をくわしく不承知ですが通過すれば規則及び要綱を作成の上10月施行の方向でご検討いただきたい。</p>	<p>社会を取り巻く環境は、原油価格・物価高騰の影響から、学校給食においても給食施設の光熱費などの管理運営に伴う費用増加や食材価格の継続的な値上がりで大きな影響が出ている現状です。</p> <p>松阪市では、保護者の方には学校給食における食材費のみをご負担していただいておりますが、給食費の支払いが困難な状況となった方へは、生活保護制度や就学援助制度など、各種の給食費の助成を行うと共に一般家庭における負担増についても認識しているところです。</p> <p>現在、給食費無償化については国の少子化対策の中で議論がなされ、その方針が検討されています。給食費無償化には多くの費用が恒久的に必要となることもご承知のことかと思いますが、市としては国の給食費無償化の動向に注視しながら、必要な政策を停滞することなく行っていきます。</p> <p>今後も安全・安心な学校給食の提供に努めてまいりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。</p>	給食管理課 電話：61-1155

令和5年4月受付分公表

番号	件名	市民の声（要旨）	市の回答	問い合わせ先
5	「子ども食堂と行政の関係」	<p>全国で「子ども食堂」が増加しており、市内ではどうかと。実態は市内10放課後クラブで小学生のみ子ども食堂が開催 食材は保護者の方が用意され実施されております</p> <p>4/12「夕刊三重」に「福祉に寄付総額441万円 松阪市に昨年度市民や団体などから38件、とありました 寄付者に社会福祉 障害者福祉 児童福祉 老人福祉 交通遺児の5事業から選んでもらい充当するとあります 子ども食堂は市の福祉自業ではありませんが、事業者、団体が別途市や教育委員会に寄付あるようです</p>	<p>子ども食堂は、松阪市内に地域団体、NPO法人、ボランティア団体等がそれぞれの地区において運営をいただいております。</p> <p>子ども食堂に対する行政の支援としましては、三重県が子ども食堂の実施に必要となる経費を補助する補助金制度を創設して事業の支援を行っております。また、助成金としましては、松阪市社会福祉協議会において子どもの居場所づくり事業助成制度がございます。</p> <p>松阪市としましては、市広報に子ども食堂の情報を掲載し周知を図っているところです。ご意見をいただきました、子ども食堂に対する支援について今後も関係各課と情報を共有し取り組んで参りたいと存じます。</p>	<p>子ども支援課 電話：53-4198</p>
6	市役所のトイレ	<p>4/26 9:00ごろ、2F女性トイレ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの個室ドアが壊れている。閉めることはできるが。</li> <li>・トイレの個室内 手荷物を掛ける金具がない。</li> </ul> <p>早急に修理すべきではないでしょうか。部品を入手すれば専門業者でなくても修理可能に見えます。来訪者に限らず、職員さんも不便を感じているのでは？</p>	<p>ご指摘いただきましたトイレについて、現地を確認し早速修理の手配をさせていただきました。</p> <p>今後もより多くの市民の方に喜んでいただけるよう、松阪市役所本庁舎をはじめ多くの施設において、来庁者の方の目線に立ち、どなたでも利用しやすい施設であるように日々心がけ、最善を尽くして参ります。</p>	<p>財務課 電話：53-4322</p>

令和5年4月受付分公表

番号	件名	市民の声（要旨）	市の回答	問い合わせ先
7	(R5.7.10追加) 松阪市内の中学生の制服の件	<p>1. 市内に11中学校がありますが男女とも制服が決められていると思います 11中学校の男女の制服を教えてください。 又購入価格もおしえて下さい。</p> <p>2. 小生、鎌田中学の卒業生ですが、当時は男子は学生服、女子はセーラー服でした。最近、新校舎になり男女共ブレザーになりました。</p> <p>3. 近年、性差の少ないデザインのブレザーが全国的に採用されております。市内の中学校が同じものを採用することにより価格も安くなったとの報告もあります。市内で居住地がかわっても同一の制服となり新たに制服を購入しなくてもよいわけです。</p> <p>4. この1年、消費者物価指数もあがり大企業の家庭の子は、経済的にめぐまれております。中小企業に働く家庭や非正規の家庭は経済的厳しい状況です。 市内の中学生の制服を男女ともブレザーで統一していただくよう検討して下さい。</p>	<p>まず、制服は、保護者の経済的負担を考え、安価で耐久性があり、かつ安心安全であることが求められており、さらに体質や体形など、すべての子どもに配慮できる素材やデザインが望まれます。また、統一することで、生徒間の格差をなくし、学校全体の統一感を高めることにもつながると考えております。</p> <p>本市における制服の状況ですが、各校、児童生徒、保護者、教職員と協議を重ね、アンケートを取る等、様々な立場の人の意見を十分に反映した上、子どもたちが中心となり決定をしております。</p> <p>市内11中学校のうち、ブレザータイプの制服を採用しているのは、西中学校と鎌田中学校の2校となっています。近年、多様な個性に対応できる第3の制服を採用する中学校が増加しており、生徒たちは、従来の制服または第3の制服を選択できるようになっております。第3の制服は、殿町・嬉野・久保・東部・飯南中学校の5校が採用しており、スーツタイプで、同デザインとなっております。上記した学校以外も、採用に向けて検討していると聞いております。価格は従来の制服と同価格程度と聞いておりますが、教育委員会としては価格の把握はしておりません。</p> <p>市教育委員会といたしまして、制服の決定をはじめ、決めごとや約束事は、各校が、児童生徒や保護者、地域の方の意見を大切に、決めていただくことが大切だと考えております。それぞれの学校で決められたことに対し、必要な支援と適切な指導を行ってまいりたいと考えています。</p>	<p>学校支援課 電話：53-4403</p>